

SASA2018（第67次福井県学力調査）概要

1 調査の目的

県内の児童生徒の学習状況および学習と生活に関する意識や実態を把握するとともに、結果を分析することにより学習指導上の課題を明らかにし、学力向上に資する。

2 調査日

平成30年12月11日(火)：国語、社会、英語（中学校）

12日(水)：算数・数学、理科、質問紙

3 調査実施学年・人数・学校数

小学校第5学年 7, 205名 中学校第2学年 7, 176名

小学校 189校 中学校 77校 特別支援学校 3校

4 特徴

- ・教科に関する基礎的な知識・技能や活用力を測る問題（A・B問題）のほか、実社会で直接生かせるような総合的な学力を測る問題（Cチャレンジ問題）で構成
- ・過去の「SASA（福井県学力調査）」や「全国学力・学習状況調査」において課題となった学習事項、活用力を必要とする問題を出題
 - 例 条件を踏まえて記述する問題
 - 図や表など複数の資料から情報を適切に読み取り、その内容を関連づけて説明する問題
- ・併せて、児童生徒の生活や学習に関する意識や実態のほか、学級集団の状態に関する質問紙調査を実施し、生活・学習状況、学級集団の状態について分析
- ・自校採点や調査結果の活用に関する学校質問紙調査を昨年度より実施
- ・調査結果は、児童生徒の学習課題の克服、教員の指導方法の改善に活用

5 結果の概要（A B問題の平均正答率〔%〕）

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校	51.5	43.9	56.9	60.3	
中学校	60.5	34.5	44.7	40.7	57.5

6 調査結果の活用

- ・教育総合研究所が調査結果を集計・分析し、学校等に報告
- ・義務教育課がSASAの結果を踏まえて授業改善研修を実施
- ・学校はSASAの結果を分析し、すみやかに授業改善等に活用

7 今後の対応

- 1月 8日 全小中学校に「速報データ」を配信
- 1月24日 全小中学校に「分析資料」及び「全県データ」を配信
- 2月 1日 指導主事連絡協議会で、市町指導主事と成果と課題を共有
- 2月 5日 市町教育長会議で結果概要を説明
- 2月 6日 教育委員会で結果概要を説明
- 2月～3月 各学校の学力面での課題の克服等を目指し、県の指導主事が学校を訪問し研修を実施
- 3月 上旬 詳細分析、授業改善事例等をまとめた「報告書」を配信